

森林塾青水

第24回 定期総会

1. 日時 2025年4月5日(土)
14時30分 ~ 16時30分
2. 場所 地球環境パートナーシップセミナースペース
3. 議題

第1号議案	2024度事業報告及び会計収支報告
第2号議案	2025年度事業計画及び予算案
第3号議案	2025年度役員選任



2025年4月5日
森林塾青水

第1号議案 2024年度事業報告 および 会計収支

1. 2024年度事業報告

2024年度の総括

【2024年度目指したものと成果】

- ・専門家によるフィールドの植生調査を行い、これまでの変化を検証し、これから目指すべき上ノ原の未来を考える。
 - 西村を中心に小幡さんの協力のもと茅場の全体的な植生調査ができた。
- ・茅場の適切な管理として、野焼きが確実にできるように体制を整える。野焼きの効果の検証実験を行う。
 - 昨年焼けなかった管理道の下部も含め、4haの野焼きを行うことができた。これは、これまでで最大の面積である。
 - 野焼きの効果の検証は十分にできなかったので引き続き行っていく。
- ・茅刈技術の向上により、出荷する茅の品質の向上と、安定的な販路確保をめざす。
 - 3年目となるつくば市平沢官衙遺跡へ3,000束の納入も無事できた。来年度の納入が、未定のため、安定的な販路確保は課題。
- ・世界で進められている生物の多様性を保全する仕組み(OECM、自然共生サイト)への登録、認定をめざす。
 - 登録申請はできたが、応募者多数のため審査対象とならず、来年度での登録申請を再度めざすこととなった。
- ・ホームページをリニューアルし、ユネスコエコパークとしての上ノ原の価値を幅広くアピールしていく。
 - 全面的なリニューアルはまだできていないので、引き続き検討していく。ブログをはじめSNSでの情報発信は多くなってきたので、引き続きアピールを続ける。
 - 公益財団法人社会貢献支援財団の表彰を受けることができた。

各月の活動記録

2024年

- 4月
 - ・ 13日 定時総会実施、会員48名中19名出席、委任状22名。
 - ・ 13日 定時総会后、セミナー実施。講師は茨城県霞ヶ浦環境科学センター 小幡和男さん、テーマは「これまで関わった植物の魅力、そして上ノ原」
 - ・ 27日、28日 「野焼き」実施 参加者1日目33名、2日目40名、吉野屋に宿泊。阿部町長に挨拶をいただく。ほか、藤原消防団も参加。1日目野焼き講習。2日目本番、約4haを焼くことができた。
- 5月
 - ・ 25日 麗澤中学校樹木観察会を実施(於 柏市) 先立って18日に下見実施。160名の生徒を、13名が五感を使った樹木観察をガイドする。
- 6月
 - ・ 1日、2日 上ノ原の植物調査実施。小幡さん他4名参加。
 - ・ 15日、16日 「森林整備でリトリート」実施。参加者20名。昨年に引き続き、2014年から2018年にかけて試験的に皆伐した40メートル四方の斜面の株立ちになったひこばえを素性の良いものを選択して残し、その他を徐伐した。
- 7月
 - ・ 12日 茅風72号発行
 - ・ 13日、14日「防火帯整備」実施。参加者11名。翌年の野焼きに備え防火帯を整備。
 - ・ 14日、15日防火帯整備に続いて、楽習会「荻ノ島茅葺集落・ブナ美人林視察」実施。11名参加。
- 8月
 - ・ 17日、18日 「植生調査・森林散策」実施。参加者11名。6月に続いて上ノ原の植物調査実施。小幡さん、飯田さん、栗原さんが参加。
- 9月
 - ・ 8日諏訪神社大祭・獅子舞奉納に青水より、清水、川端、藤岡(和)、草野が参列。
 - ・ 21日、22日「土呂部の草原で茅ボッチづくり」に15名参加。六年ぶりに土呂部を訪問し、日光茅ボッチの会と交流。
 - ・ 28日、29日「ミズナラ林整備とススキの種採取」に11名参加。活動に併せて「里山の土壌を知るプロジェクト2024」の土壌サンプルを採取。
- 10月
 - ・ 4日、5日長野県小谷村で開催された「第14回全国草原サミット・シンポジウム」に、青水より北山塾長以下、藤岡、西村、稲、河辺が参加。

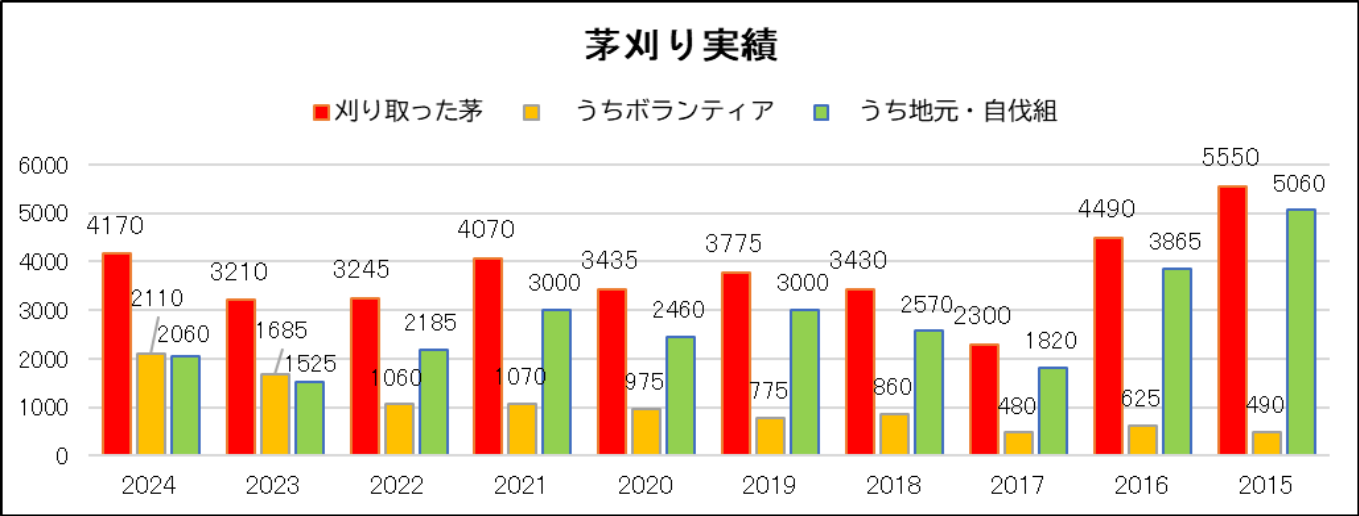
- ・ 23日、24日 麗澤中学1年生161名による奥利根水源の森フィールドワークを実施。青水関係者18名がインストラクターとして指導にあたる。当日は雨天のため、急遽茅刈りに代わり、自然の素材を利用した工作に変更して実施した。
- ・ 26日、27日「茅刈り」実施。39名が参加。合計166ボッチ(830束)の成果。1日目夜の車座講座は、清水、草野、北山の歴代塾長が青水20年の歩みを語った。
- ・ 27日～定例プログラム終了から11月4日までの間、有志6名が茅刈り合宿実施する。この他、11月中頃までの間に地元茅刈衆及び自伐林業グループが随時、茅刈を実施。

- 11月・ 23日、24日「茅出し・山の口終い」実施。16名が参加。合計834ポッチ(4,170束)を搬出した。
- 12月・ 1日 日本茅葺き文化協会主催の国選定保存技術「茅葺」保存団体認定祝賀会が京都で開かれ、稲が出席した。
- ・ 1日、2日 森林塾青水が社会貢献支援財団より社会貢献表彰。帝国ホテルで開催された授賞式に、清水・草野・北山・藤岡(和)の新旧塾長、副塾長4名が出席。
- ・ 18日 茅風73号発行

2025年

- 1月・ 25日 流域連携の一環として、小貝川の野焼きに11名参加。雨天のため火入れは延期し、防火帯の作業のみ実施。
- ・ 26日 同じく流域連携として、菅生沼の野焼きに11名参加。
- 2月・ 1日 一週間延期となっ小貝川の野焼きに、青水より3名が参加。この日は天候の恵まれ、予定通り実施できた。
- ・ 5日 月夜野カルチャーセンターで開催されたみなかみ町環境学習発表会(小学生)で、青水の活動紹介パネルを展示。
- 3月・ 8日、9日「雪原トレッキングと自然体験」実施。25名参加。初日は大幽洞窟へいき、翌日は、並木山荘でうどん打ちを行った。
- ・ 12日 茅風74号発行

(茅刈りの実績データ)



内訳

実施年度	2024	2023	2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015	合計
刈り取った茅	4,170	3,210	3,245	4,070	3,435	3,775	3,430	2,300	4,490	5,550	37,675
うちボランティア	2,110	1,685	1,060	1,070	975	775	860	480	625	490	10,130
(うち合宿)	530	1,025	390	525	550	375	420	50			3,865
うち地元・自伐組	2,060	1,525	2,185	3,000	2,460	3,000	2,570	1,820	3,865	5,060	23,960
*環境保全作業協力金支払	61,000	61,000	87,400	90,000	105,000	92,520	99,500	40,000	126,500	100,960	863,880

＊ 茅の買い取り価格に当塾が上乘せするもの。

参加者

定例プログラム参加人数(会員以外の地元協力者は含まず)

実施年度	2024	2023	2022	2021	2020	2019	2018	2017	2016	2015	合計
総数	162	172	173	100	96	125	142	188	132	143	1433
野焼き	40	47	47	中止	中止	48	43	58	26	45	354
茅刈り	39	22	32	34	34	26	24	27	22	27	287
その他	83	103	94	66	62	51	75	103	84	71	792
備考				新型コロナ対策で活動縮小	新型コロナ対策で活動縮小						

基本方針

多様な人々が飲水思源の志でつながり、生き物たちでにぎわう
上ノ原の「入会の森（茅場・ミズナラ林）」を持続的に保全・
利用していく。

■ 2025年度重点取り組み

- ・ 20周年記念誌の発行と20周年記念行事の実施
- ・ 茅場の適切な管理として、野焼きが確実にできるように体制を整える。野焼きの効果の検証実験を行う。
- ・ 茅刈技術の向上により、出荷する茅の品質の向上と、安定的な販路確保をめざす。
- ・ 希少種の栽培技術の研究
- ・ 世界で進められている生物の多様性を保全する仕組み（OECM、自然共生サイト）への登録、認定をめざす。
- ・ ホームページをリニューアルし、ユネスコエコパークとしての上ノ原の価値を幅広くアピールしていく。

目的	ベースの活動	具体的な取り組み
茅場保全と活用	野焼き	毎年確実に野焼きが出来る体制づくり 野焼きの効果の検証実験
	茅刈り・運びだし	茅刈りの担い手の育成と茅刈り技術の向上
	茅の販売	茅の商品としての品質向上、安定的な販路開拓 茅の種採取、販売
ミズナラ林保全と活用	二次林の若返り間伐と 資源の活用	自伐型林業との協働と利用促進 間伐の推進、薪、木炭、木製品など製品化 リトリートプログラム活用
調査研究	生き物調査	専門家の指導をうけての植生調査 センサーカメラによる生き物調査（NACS-Jとの連携） 希少種等の栽培技術の研究
環境教育	藤原小学校との協働	希少植物の栽培などを通じた環境教育
	学校団体等の受け入れ	麗澤中学校、その他武蔵中学校など
社会貢献・地域貢献	環境資源の発掘、掌握、ア ピール	草原の里100選、重要里地里山500、モニタリングサイト100 0、昆虫等保護条例指定地、SDGsを意識した活動 NACS-Jと連携したOECM、自然共生サイトへの登録
活動基盤維持強化	担い手の体制強化	執行部の体制強化
	担い手層の拡充	茅刈新規参入者の促進、自伐型林業の研修参加者への働き かけ（前年度から継続）
	関係団体との連携	大学など教育機関との連携、働きかけ 茅葺き文化協会のチャンネル活用
普及啓発	広報、PR活動	記念誌の配布と活動のPR
		ホームページ、SNS等による情報発信
		町報、回覧板、県広報等によるPR
		記帳台の活用による、山菜取りなどの茅場利用者への広報、 PR

2. 2025年度年間行事予定(案)

実施日	実施事項(内容) ①～⑧は定例活動 (カッコ内＝現地行事)	主な狙い
4月5日	総会・セミナー (於 東京都)	
4月26日	20周年記念行事	基調講演、シンポジウム
4月27日	①野焼き・山の口開け	茅場の再生、保全
5月24日	麗澤中学校樹木観察会(於 千葉県柏市)	次世代を育てる (秋のフィールドワークへの導入)
5月31－6月1日	②山菜取りと野草茶	山菜の魅力と野草の茶を楽しむ
7月12－13日	③茅場の防火帯整備	野焼きの安全確保、生態系サービスの発掘
9月中旬	連携先訪問(日光茅ボッチの会ほか)	情報交換、相互支援
10月4－5日	④ミズナラ林整備と茅の穂採取	ミズナラ林の保全、生態系サービス活用・社会貢献
10月上－中旬	(地元による茅の穂採取)	地元貢献・担い手増加
10月22日	麗澤中学校フィールドワーク	次世代育成
11月上旬	茅刈合宿	茅場の保全、生態系サービスの活用
11月8－9日	⑤茅刈り	茅場の保全、生態系サービスの活用
10月下～11月中	(地元による茅刈り)	
11月29－30日	⑥茅出し・山の口終い	生態系サービスの活用、社会貢献
2026年 1月11－12日	小貝川、菅生沼野焼き参加(流域連携 常総市)	他団体交流
3月7－8日	⑦冬の自然観察と雪原トレッキング	フィールドへの理解促進、地元貢献
時期未定	茅ユーザー交流	生態系サービスの発掘、理解促進
	楽習会(首都圏部会による流域連携活動)	青水の活動分野全般への理解深化
通 年 (メニューの中で 実施)	植生調査	専門家の指導を受けながら、徹底調査
	希少種の育成、生育状況モニタリング	生物多様性の保全、フィールドへの理解促進
	NPO奥利根水源地域ネット側面支援	担い手の確保
	自伐林業との相互交流	担い手の確保
	茅の販路開拓	収益化を通じ担い手確保
	全国草原再生ネットワーク等	情報交換、相互支援
	連携団体への上ノ原来訪・利用呼びかけ	活動基盤強化
	広報活動の活発化	HPリニューアル、SNS活用など
摘要	1. 野焼きは、除雪をしないで行う。野焼き事前準備、防火帯整備。	
	2. 茅刈り新規参入者対策: 自伐型林業の研修参加者にアナウンス。	

第3号議案 2025年度役員選任

1. 役員候補（あいうえお順）

稲 貴夫	稲 千賀子	尾島キヨ子	北山郁人	河辺穂奈美
西村大志	藤岡和子	藤岡貴司	柳沼翔子	吉野一幸

2. 退任役員

草野 洋
松澤英喜

3. 新任役員

河辺穂奈美

4. 2025年度執行体制(案)

塾長	北山郁人	全般統轄 みなかみ事務所長(地元・みなかみ町役場ならびに支援企業との連携、資材等管理)
----	------	--

副塾長	藤岡和子	塾長補佐、必要に応じて代行 全般にわたる企画 児童青少年の教育プログラム
-----	------	--

事務局長	稲 貴夫	全般にわたる管理 全般統轄補佐 下流域部会統轄・東京楽習会・流域連携、総会/セミナー 「茅風」編集長 会計監査
------	------	---

幹事	稲 千賀子 尾島キヨ子 西村大志	麗澤中補佐「樹木観察会/FW」、下流圏プログラム補佐、総会/セミナー補佐 麗澤中補佐「樹木観察会/FW」、下流圏プログラム補佐、総会/セミナー補佐 学術面でのサポート、学識者・研究者たちとの連携 助成事業、広域連携補佐(草原再生ネット、草原サミット)、麗澤中(統轄、窓口) WEB管理(H/P・ブログメンテなど)補佐
	藤岡貴司	事務局長補佐(予算管理、会員名簿管理、総会ほか)
	河辺穂奈美	会計・出納
	柳沼翔子	現地活動塾長補佐 プログラム企画開発、広報、WEB管理
	吉野一幸	地元代表、地元の活動参画促進、地元情報発信

顧問

安楽勝彦	草野 洋	笹岡達男	清水英毅	滑志田隆
------	------	------	------	------

相談役

雲越 萬枝
林 親男

みなかみ町担当窓口：環境課（組織変更の可能性あり）

第一号議案
 2024年度収支報告
 第二号議案
 2025年度予算

項目		2024年度計画	2024年度実績	うちイオン 助成金充 当	うち自己負 担	2025年度計画	前年度との増減(△)	うち助成金 充 当
収 入	前年度繰越金	3,536,325	3,536,325			4,797,322	1,260,997	
	会費・入会金	250,000	246,000			250,000	0	
	賛助会員会費	50,000	60,000			60,000	10,000	
	受取寄付金	10,000	85,278			210,000	200,000	
	受取助成金	990,000	1,935,266			800,000	△190,000	
	イベント参加費	425,000	381,000			350,000	△75,000	
	物品売上等	242,000	140,700			150,000	△92,000	
	受託事業収入	603,000	571,000			603,000	0	
	その他雑収入	0	1,249			0	0	
	単年度収入	2,570,000	3,420,493			2,423,000	△147,000	
合 計		6,106,325	5,951,818			7,220,322	1,113,997	
支 出	活動費用	1,525,100	1,434,548	935,266	499,282	1,650,000	124,900	770,000
	備品消耗品費	155,000	154,147	151,392	2,755	300,000	145,000	152,500
	レンタカー費	389,000	550,107	550,107	0	450,000	61,000	285,300
	その他旅費交通費	102,000	119,125	119,125	0	120,000	18,000	60,600
	人件費・謝金	200,000	25,000	25,000	0	40,000	△160,000	30,000
	保険料	87,100	89,642	89,642		90,000	2,900	88,600
	活動交流会費	200,000	150,272	0	150,272	200,000	0	
	環境保全作業協力金	61,000	61,000	0	61,000	75,000	14,000	
	地域通貨	27,000	21,320	0	21,320	25,000	△2,000	
	支払会費・連携活動費	110,000	263,935	0	263,935	140,000	30,000	
	業務委託費	150,000	0	0	0	150,000	0	150,000
	広報・通信費	44,000	0	0	0	60,000	16,000	3,000
	受託事業経費	576,760	591,616	0	591,616	600,000	23,240	0
	受託備品消耗品費	25,500	21,000	0	21,000	30,000	4,500	
	受託旅費交通関係費	148,060	226,616	0	226,616	150,000	1,940	
	受託人件費・謝金	403,200	344,000	0	344,000	420,000	16,800	
	事務所経費その他	166,890	133,332	0	133,332	190,000	23,110	0
	事務備品資材費	36,000	1,509	0	1,509	50,000	14,000	
	印刷・通信・手数料	51,230	74,788	0	74,788	80,000	28,770	
	IT、会議室等インフラ費	79,660	57,035	0	57,035	60,000	△19,660	
	記念事業その他臨時費用		0	0		1,500,000	1,500,000	0
単年度支出		2,268,750	2,159,496	935,266	1,224,230	3,940,000	1,671,250	770,000
次年度繰越		4,004,465	4,797,322			3,180,322	△824,143	
合 計		6,273,215	6,956,818			7,220,322	782,607	